

新刊紹介

「設備診断技術ハンドブック」刊行のお知らせ

本会共同研究会設備技術部会において、昭和 58 年より企画・編集を進めてまいりました「設備診断ハンドブック」が本年 12 月に刊行されることとなりました。

今日、日本の産業界に於ては設備の自動化・高度化が進み、鉄鋼業のみならず全ての業種で設備が生産活動の主役を果すようになってまいりました。したがって設備の機能精度を維持するメンテナンス業務は極めて重要なものとなつてきております。かつて「予防保全」というメンテナンス理論が日本に導入されて以来、メンテナンスの理論・活動・システム等は、その重要性の認識とともに発展してきましたが、その経済性および信頼性を追求した結果として、近年「設備診断技術」が適用されるようになってまいりました。

本書は、本会設備技術部会を中心に第一線の執筆陣によつて、設備診断技術の現状と今後の動向について、鉄鋼業はもとより、各種機械・電気設備等広範な業種にわたつて実例を豊富に盛り込み集大成したものであり、本技術の実践的なハンドブックとして広く御活用いただけるものと確信いたします。

本会では、下記のとおり本書を購読される会員に特別価格を設けることといたしましたので、ご希望の方は官製葉書にて本会宛お申込み下さい。

記

「設備診断技術ハンドブック」会員特価要項

1. 発行時期・体裁 昭和 61 年 12 月下旬発行、B 5 判 350 ページ
2. 会員特価 8,800 円（定価 9,800 円）送料出版社負担
3. 申込方法 官製葉書にて、ご購入部数・送付先ご住所・ご氏名をご記入のうえお申込み下さい。（図書は丸善より振込用紙とともに発送されます）
4. 申込先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階（〒100）
（社）日本鉄鋼協会 庶務課（担当 水野）
5. 支払方法 出版社より本書発送と同時に振込用紙をお送りいたしますので指定口座にお振込み下さい。
6. 注意事項 会員特価は一般書店では取扱いをいたしませんので必ず本会へお申込み下さい。
なお、発送等に関する問い合わせは下記へ直接お願いいたします。
（問い合わせ先）丸善（株）出版事業部編集室 電話 03-272-0393（担当 石寺）

（内 容）

1. 設備診断技術の概要
2. 回転機械診断技術
3. 静止機械診断技術
4. 電気設備診断技術
5. 油分析による診断技術
6. 鉄鋼における設備診断システム
7. 診断のための資料

書 評

応 用 超 電 導

荻原 宏 康 編著

本書の編著者はまえがきの中で“超電導技術の電気工学への応用の現状を知りそれを利用し、さらに将来展望を考えるには、難解な超電導物理の基礎を必要としないというのが本書の基本姿勢である”と明言し、徹底して超電導技術の応用についての入門書であることを心掛けている。しかも超電導応用技術の基盤となつている実用超電導線、超電導磁石、液体ヘリウムなど、いわゆる超電導技術の道具だてから実際の超電導技術の応用例に至るまで図版が豊富に盛り込まれていてわかりやすい。また表現もきわめて簡明直載である。たとえば、有機超電導体等々新しい超電導体としてしばしば話題をにぎわせる物質について、“以上の超電導体は本書で扱うきわめて現世的な実用超電導線とは世代がまったく異なる。この仲間の超伝導体が見つかったから室温の超電導磁石が

できる……”といったニュースにはいつも悩まされる。そんなものが簡単に、あるいはそんなオーソドックスな研究から生まれるはずがない。大電流と電子輸送、超伝導体と実用超電導、古典物理の世界と量子論の世界など、区別をしつかり認識してほしい”とあくまで現実の技術の応用に関する入門書であることに徹している。その意味で、今この方面の知識を必要としている実戦的読者には、ど真中のストレートが来たような感触を与える書であると言えよう。

内容は第一章超電導技術、第二章超電導技術の道具立て、第三章超電導線、第四章超電導コイル、第五章超電導応用機器、第六章超低温構造材料と極低温絶縁材料となつていて、各章とも実例を駆使した具体的な説明がなされている。付録として超電導のキーワード（たとえば、超電導性、臨界温度、永久電流、クエンチ等々）について簡単な物理的意味が説明されているのも親切である。

(山口正治)

A5 版 250 ページ 定価 4400 円

1986 年 7 月 日刊工業新聞社発行